「ぐるなび」「接待の手土産」編集部 編

接待の手土産2022

秘書が"いま"選ぶ 贈り物

いまだからこそ
「人とのつながり」を大切にしたい
あなたへ

ムック本『接待の手土産2022　秘書が”いま”選ぶ贈り物』　9月13日（月）より、全国の書店・ネット書店にて発売開始

新しい生活様式により高まるギフトへの関心、ギフト選びは秘書の目利きで確かな品を！

株式会社ぐるなび　　2021年09月10日

株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：杉原章郎、以下、ぐるなび）はムック本『接待の手土産2022　秘書が“いま”選ぶ贈り物』を、9月13日（月）より全国の書店（一部地域を除く）とネット書店にて発売します。

本書では、「接待の手土産」セレクション（※）初のWEB上での品評を通じて選出された143品を掲載。さらに、その中でも特に評価の高かった特選30品を、より詳しく紹介しています。各商品紹介には、手土産選びの知識とノウハウを持つ現役秘書ならではの評価ポイントやコメントを掲載するなど、ビジネスやプライベートでの手土産選びに役立つ充実した内容となっています。

また、コロナ禍で新しいギフト選びへの関心が高まっている今だからこそ、「現役秘書へのアンケートから読み解く　新生活様式の贈り物」を特集企画として掲載。贈り物の極意を知り尽くした秘書の目利きや知恵をニューノーマル時代に喜ばれるギフト選びにご活用ください。

ぐるなびは、「食でつなぐ。人を満たす。」という存在意義（PURPOSE）のもと、事業を推進しています。今後も「飲食店経営サポート企業」としてさらなるサービスの拡充を図ってまいります。

本書の内容

・冒頭エッセイ　『会えない時間もつなぐ 気持ちを込めた「贈り物」』
・特集　　『新生活様式の贈り物』
・秘書の目利きで選ばれた「洋菓子」「和菓子」「おかずもの」「お供」「お飲みもの」など合計143品を紹介。

「接待の手土産」セレクションとは（※）

●「接待の手土産」セレクションとは（※）●
　味・デザイン性・実用性・高級感・素材・商品に込められた想いなど、秘書ならではの視点で手土産を評価する会。今回は新型コロナウイルス感染症対策のため、初の試みであるWEB上で審査を行う「WEB品評」を実施し、延べ552名の現役秘書が参加。品評会で一定以上の評価を得た商品は、「“接待の手土産”セレクション2021 spin-off」の入選商品となり、中でも特に評価の高かった商品はその年の「特選」として表彰しています。

▲「接待の手土産」セレクションとは

ムック本情報

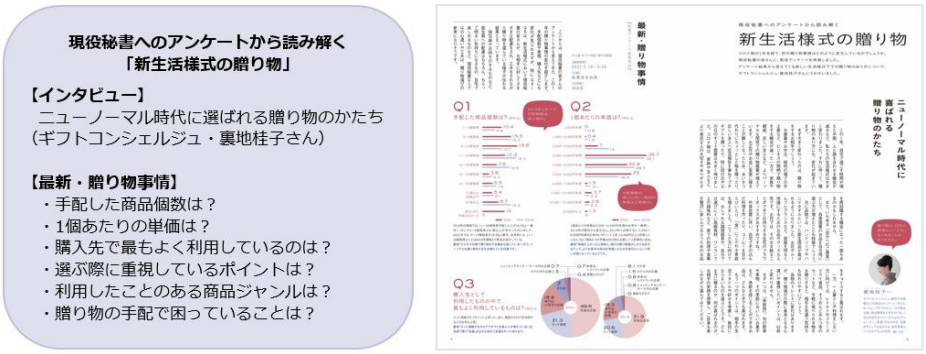
タイトル：接待の手土産2022　秘書が“いま”選ぶ贈り物
編者　　：ぐるなび「接待の手土産」編集室
発行　　：日経BP　日本経済新聞出版本部
発売　　：日経BPマーケティング
発売日　：2021年9月13日（月）
ページ　：120ページ
定価　　：本体928円＋税　ISBN 978-4-532-18330-1

ページの構成

手土産選びの参考になる、秘書の評価ポイントを掲載。中でも特に評価が高かった特選30品は詳しく紹介！

特集

現役秘書の皆さんにアンケートを実施。アンケート結果から見えてくる新しい生活様式下での贈り物のあり方について、ギフトコンシェルジュ・裏地桂子（うらじけいこ）さんに伺いました。



【接待の手土産】
「こちら秘書室」の秘書室会員約37,000人のネットワークを活用し現役秘書の目利きにより選ばれたビジネス使いに適した手土産を紹介するサイト。
年間を通じて、秘書室本会員による手土産をWEB上で品評する「WEB品評」を開催し、多くの手土産店が出品する自信作を「ビジネスシーンにふさわしい贈り物」という観点で目利きし、誰もが知る名店の手土産から、知る人ぞ知る各地の名品まで、日本の文化とも言える手土産品を随時紹介しています。また、1年間かけて目利きした商品の中から、秘書からの評価が特に高い手土産を「特選」として発表しています。
■接待の手土産　https://temiyage.gnavi.co.jp/

【こちら秘書室】
約37,000人の秘書室会員からなる秘書のサポートサイト。取引先との会食や接待に適した上質な飲食店情報のほか手土産情報やセミナーなど、秘書業務に役立つコンテンツを展開しています。
2002年のサイト開設以来、全国の秘書業務に従事している方を会員組織化し、接待利用に適した高級飲食店と結びつけています。そのほか高級飲食店の下見会や秘書懇親会の開催、手土産情報の提供、各種セミナーの開催、秘書同士の掲示板の提供などさまざまなサービスで秘書業務のサポートを目指しています。また、秘書の知見を

活かした情報発信もしています。
■こちら秘書室　https://secretary.gnavi.co.jp/

以上